

インラインフィルタ

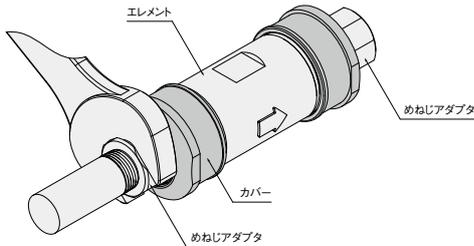
PLF600

設置取扱説明書 Ver. 1.0

コガネイ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

■取付・配管

1. 配管作業時は締め付け側のめねじアダプタの二面幅にスパナ掛けをして使用してください。



注意 配管作業時にカバーやエレメントの二面幅を使用すると破損する可能性があります。

2. めねじアダプタの配管ねじ部に鋼管・継手などを取り付ける場合は弊社規定の推奨締付トルクで締め付けてください。

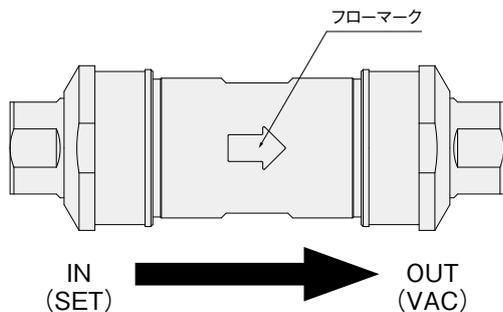
注意 過剰なトルクでの締め付けは、製品が破損したり、作業員・使用者がケガをしたりする原因になります。

推奨締付トルク

N・m

接続ねじ	R1/4	R3/8
トルク	7 ~ 9	12.5 ~ 14.5

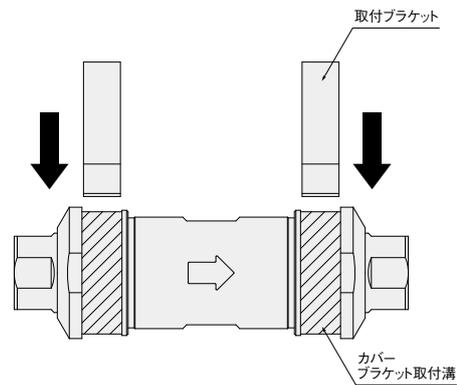
3. 製品に表示してある矢印（フローマーク）の向きにエアが流れるように配管してください。（逆方向では使用しないでください）



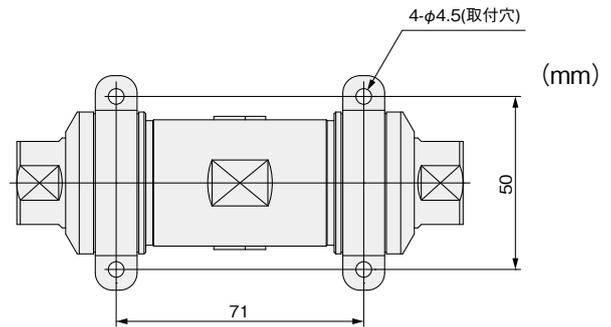
4. インラインフィルタには樹脂部品を使用しており、曲げモーメント、ねじりモーメントをかける取付けはできません。製品が破損する原因となります。
5. 取付姿勢は自由ですが、本体に強い衝撃や振動が直接かからないようにしてください。
6. 固定する際はオプションの取付ブラケット（2 個）を両側に取付けてください。

ブラケット取付手順

- 1) 取付ブラケットをカバーの取付溝（下図）にはめ込んでください。



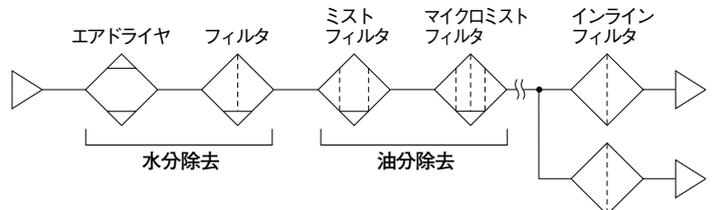
- 2) 取付ブラケットの取付穴 4 ヶ所に M4 ねじで締め付け、確実に取付けてください。取付ブラケットの取付寸法は下図の通りです。



※ ブラケット厚さ t=1

7. インラインフィルタは固形物除去を目的としているため、これ以外の水分・油分は事前に除去してください。

●推奨回路（正圧時）



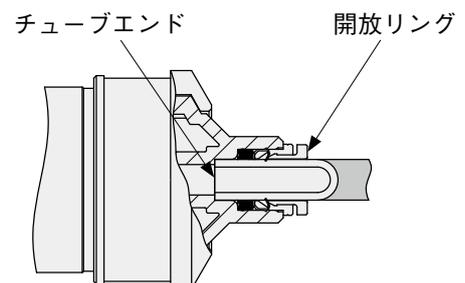
8. 保守点検・エレメント交換作業等に必要なスペースを確保してください。

注意 取付ブラケットおよびカバーを外すためのスペースを確保していない場合、エレメントを交換することができません。

9. チューブの着脱

チューブ装着上の注意

- 1) チューブの切断面が直角に切断されていること、チューブ外径に傷がないこと、およびチューブが楕円になっていないことを確認してください。
- 2) チューブを装着する際、チューブがチューブエンドまで差し込まれていないと漏れの原因となる可能性があります。



- 3) 装着後、チューブを引いて抜けないことを確認してください。

チューブ取り外し上の注意

- 1) チューブを取り外す際、チューブ内の圧力がゼロ（大気圧）になっていることを確認してください。
- 2) 開放リングを均等に奥まで押し込み、チューブを手前に引き抜いてください。押し込みが不十分の場合、抜けなかったり又はチューブが傷付き削りかすが継手内部に残る可能性があります。

■推奨使用チューブ

当社ウレタンチューブの使用を推奨します。チューブの外径精度は、呼称寸法の±0.15mm以内、楕円度（長径と短径の差）は0.2mm以内のものを使用してください。

- 注**
1. チューブは外面に傷のないものを使用してください。繰り返し使用して傷がついた場合はその部分を切断してください。
 2. チューブは継手付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。エア漏れの原因となります。ウレタンチューブを使用した場合の最小曲げ半径の目安は下表の通りです。
 3. 極軟質チューブの使用は引抜強度が著しく低下しますので使用しないでください。

mm

チューブサイズ	最小曲げ半径
φ 8	20
φ 10	27

■エレメント交換

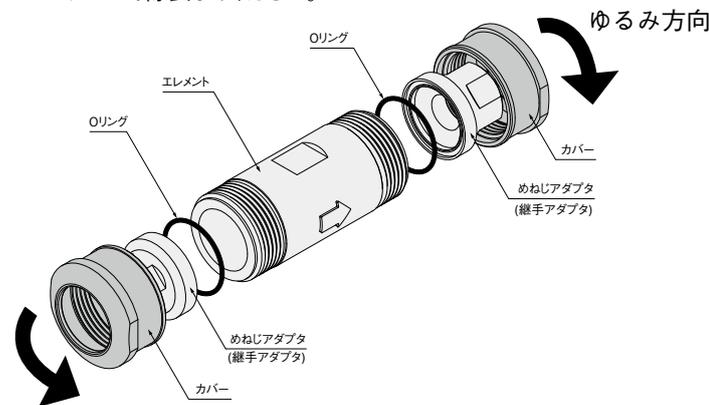
PLF600 は下記手順に従って交換してください。

1. 運転の停止

- ・運転を止めてフィルタ内の圧力がゼロ（大気圧）になっていることを確認してください。
- ・ブラケット取付をしている場合は、取付ブラケットをインラインフィルタから外してください。

2. エレメント取り外し

- ・カバーを反時計方向に回してエレメントから外してください。カバーが外れにくい場合はカバーとエレメントにある二面幅を使用してスパナ等で回してください。その際エレメントを破損しないように注意してください。同様に反対側も外してください。
- ・めねじアダプタ（継手アダプタ）からOリングを取り外してください。
- ・めねじアダプタ（継手アダプタ）、カバーに付着滞留している塵埃などはエアブローで除去してください。



3. エレメント取り付け

- ・交換用Oリングをめねじアダプタ（継手アダプタ）の溝部に組付けてください。
- ・めねじアダプタ（継手アダプタ）をカバーに通し、カバーをエレメントに取付けてください。カバーの締め付けは工具を用いず手締めで行ってください。工具を用いての過剰な締め付けは樹脂部の破損原因となる可能性がありますので、無理な力で締め付けしないでください。（締付トルク目安：1.5～2N・m）
- ・エレメント内部の中空糸膜に触れないように気をつけてください。中空糸膜の破損や性能低下につながる可能性があります。
- ・同様な手順で反対側も行ってください。

■一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング（圧縮空気の吹き流し）を十分に行ってください。配管作業中に発生した切り屑やシールテープ、錆などが混入すると、性能・機能低下や機能停止の原因となります。
2. 空気およびN₂以外の流体は使用しないでください。それ以外の使用を検討する場合は、必ず最寄りの弊社営業所または技術サービスセンターへご相談ください。
3. 使用流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。
有機溶剤、りん酸エステル系作動油、亜硫酸ガス、塩素ガス、酸類、その他腐食性ガス。
4. 供給空気および周囲温度が使用温度範囲を超える場所での使用は避け、設置してください。
5. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。
6. 製品には、外部より無理な力がかからないようにしてください。
7. 最高使用圧力を超える使用は避けてください。
8. 紫外線および風雨に直接製品をさらさないでください。
9. この製品は産業用です。人命に関わる装置には使用しないでください。

■使用上の注意事項

製品の注意事項に関しては、ご使用になる前に、ホームページまたはカタログの「安全上の注意」・「取扱い要領と一般注意事項」を参照してください。

■保守点検

1. 空気圧機器は寿命によって性能・機能が低下します。空気圧機器は日常点検を実施し、システム上必要な機能を満たしていることを確認して未然に事故を防いでください。
2. エレメントの交換方法は「エレメント交換」の項をご覧ください、正しく行なってください。エレメントの交換目安は、目視でのエレメントの汚れや真空ライン使用時での到達真空度の低下等、使用上の性能低下が見られた場合になります。

※その他、詳細な仕様および注意事項に関してはカタログを参照してください。

※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。



株式会社コガネイ

技術サービスセンター

TEL(042)383-7172